

カンボジア ベトナム スタディーツアー

W24-0098e 田中 真依

- ・日程 2013年2月25日～3月11日(14日間)
- ・費用 約20万円(航空券代を含めて)
- ・為替 1\$→20000ドン(ベトナム)、4000リエル(カンボジア)、
- ・物価 水500ml 約40円

2月25日	人生初の成田空港9時30分→人生初のホーチミン(ベトナム)空港14時25分着 スーツケースがレーンに回ってこない。違うレーンで発見。スーツケースが開かなくなる。999通り中700番目で鍵が開く。
26日	朝早くホテルの前の公園にコーヒーを飲みに行く。レストラン「フンライ」オーナー白井さんのお話(ベトナムのサービスについて)を聞く。人生初の原付に2人乗りをする(最高6人乗りを見た)。ベトナムのおじさんに惚れる、そしてぼったくられる。
27日	メコン川の離島にバスで2時間かけて行く。市内とは違った自然の風景に癒される。巨大な蛇を巻いた。
28日	バスでドンナイへ移動。タイホア教会にホームステイ。近くの小学校、中学校で子供たちと遊ぶ。サインを求められて身動きできず。大広場でご座を敷いて虫に咬まれながら就寝。
3月1日	教会を出発、ホーチミンでバスを乗り換え国境越え(6時間)プノンペン到着
2日	スティングミアンチェ(スラム街)散歩。VDTO小学校(スラム街の子供達に通う学校)へ遠足の準備のため訪問する。初めてスラム街を見てへこむ。が、トゥクトゥクに乗り元気を出す。
3日	VDTOの子供達と1時間半バスに乗りうどん山に遠足へ。子供達と仲良くなりfacebookの交換。ホテルの部屋でアリンコを見かけ始める
4日	セントラルマーケットで買いもの。値切り術を身につける。夕方、VDTO小学校に、遠足の事後学習のため訪問する。子供達との別れに涙する。 部屋のアリンコと仲良くしようと頑張る
5日	キーリングフィールド・ツールズレン訪問。衝撃をうけ、またまたへこむ。部屋に戻ると、お菓子里に群がるアリンコの行列を発見。絶交を決意、大量虐殺する。
6日	メコン大学での獅子舞リサイタル。作ったどら焼きを配る。
7日	ホテルにひきこもる
8日	シェムリアップへ移動 レッド・ピアノでお酒をたしなむ。カンボジアの岡村

	隆に出会う。
9日	アンコールワット見学。お金が残り 2000 リエル (約 45 円) になり、身に危険をを感じる
10日	朝食のビュッフェでパンとバナナを服に入れ、部屋へ持ち帰り昼食に。近くのスーパーで水を買って一文無しになる。シムリアップ発 21 時 40 分→ホーチミン着、発
11日	機内食にがつつく。成田着 6 時 30 分

景色、言葉、食べ物、人、匂い、お金、コンセントの差込口、全てが初めてなことだらけの初の海外。飛行機の外に降りたら日本とは 25 度の差、トイレはお金を払わなきゃ貸してくれない、レストランでは 1 番最後にサラダが出てくる、日本では経験できないことをたくさん体験した。

ベトナム人は適当精神の持ち主だと思う。2 人に道を聞いても 2 人とも違う方向をゆび指し、おまけに、それも間違っている。日本のレストランや空港などの従業員は、愛想をふりまく笑顔や、お客さんを気遣う言葉など当たり前のようにやっているが、ベトナムではそういったサービスが無いことに驚いた。

逆にカンボジア人は、ベトナム人と違って人懐っこく優しくかった。しかし逆に、道を歩いていると、地雷で足のない人や、お金をくださいと、両手を合わせてくる子供達を頻りに目の当たりにした。自分のやるせなさを感じモヤモヤした。

今回の旅で、いろんな国に行き、いろんな考えの人に出会い、たくさんの経験をしたいという欲が出た。今すぐにでも早く海外に旅に行きたい。実際にその国に行って経験しないとわからない事がたくさんあるんだな、とすごく実感できた。自分にとってすごく充実した濃い春休みだった。